

栄養ケアステーションから広がる連携

～訪問栄養士が果たす割合と可能性～

機能強化型認定栄養ケアステーション DRD

代表理事・管理栄養士 豊田綾子

2025.2. 21 中和保健所

目次

- ◆はじめに
- ◆栄養ケアステーションでの活動
- ◆在宅訪問栄養食事指導
- ◆事例紹介
- ◆まとめと質疑応答

管理栄養士の力

で自分ら
ーを支え
して行う
。日本栄
。栄養士の
管理栄養
して人材
は自宅療
現場を訪
住和樹)



自宅療養に

食事指導で病状

クもあるため、矢治さんはいなりずしや牛乳スープ、チーズなど栄養価が高く食べやすい食品を薦め、連絡ノートに記入して買い物をするヘルパーに伝える。ケーキが大好きな山田さん。糖尿病には良くないが、矢治さんは「これくらい量なら」と具体的に説

明する。在宅訪問のして約十年。食べるを維持するために「(生活の質)を重視容範囲を広く取り、んばいを探る」とい

管理栄養士の訪問保険や介護保険で受ける。厚生労働省などでは、介護保険によ栄養士の派遣が一七の三年間で一・二倍など、いずれも増加傾向性の高い在宅栄養管理栄養士の新設は、まな病態の在宅療養増えていることが背る。リハビリなどとの連携も重視されて奈良県広陵町の豊さん(四七)も在宅栄養管理栄養士。同県明日自宅で療養する荒川(六七)を月一回訪ねる

荒川修さんのベッド脇で友希さんと栄養士エン豊田綾子さん(奈良県明



機能強化型認定栄養ケア・ステーション
ディー・アール・ディー
Dear Registered Dietitians

沿革 / HISTORY

- 2014年 ● 「地域栄養ケアセンターとよだ」を公益社団法人日本栄養士会ケアステーションモデル事業として開設。
「食を大切に」をモットーに地域における食生活支援を展開。
- 2018年 ● 日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションに認定。
登録管理栄養士 2名体制となる。
- 2020年 ● 登録管理栄養士 5名体制となる。
- 2021年 ● 日本栄養士会機能強化型認定栄養ケア・ステーションに認定。
- 2022年 ● 事業所名を「機能強化型認定栄養ケア・ステーション ディー・アール・ディー」に変更。



機能強化型認定栄養ケア・ステーション
ディー・アール・ディー
Dear Registered Dietitians

機能強化型認定栄養ケアステーション DRD

項目	対象者と内容
訪問栄養指導	在宅療養者及びその介護者に対する居宅訪問を行い、医療保険および介護保険の適用下で介入を実施します
外来・集団栄養指導	病院を受診する患者に対して、病院や診療所において栄養指導を行います
栄養講座 高齢者の介護と医療の一体的実施	地域住民や75歳以上の高齢者を対象に、行政からの委託で実施する 栄養講座や居宅訪問も実施します
訪問栄養士人材育成	訪問栄養士を増やすために講義や同行訪問を実施します
地域ケア会議 地域リハビリテーション事業	行政からの委託により実施 居宅訪問も実施
栄養士養成施設・ 医療福祉関係者へ栄養教育	栄養士・多職種等 医療、福祉関係者への教育・講演を実施します
障害児・者への 栄養サポート	施設へ訪問し、介護士や調理員に対して調理指導を行います。また、実費での訪問栄養指導も実施します

栄養講座の様子



管理栄養士の訪問サービスをご存じですか？

在宅訪問栄養食事指導とは

自宅や施設などで生活する個人に対して、**栄養に関する適切な食事指導**を提供する活動で、個々のニーズや状況に合わせて実施し、その人の健康と生活の質を改善を目指す。

医療保険は「**在宅患者訪問栄養食事指導**」という名称で、介護保険では、「**居宅療養管理指導**」という名称で実施。

管理栄養士は、医師の指示に基づき特別食を必要とする、または、低栄養状態にあると医師が判断した利用者に対して、居宅または居住系施設を訪問し、栄養管理に関する情報提供および、栄養食事相談または助言を行った場合に、※**月2回(1回30分以上)を限度に算定**する。

※令和6年度社会保障制度改定で、見直しがおこなわれた

在宅訪問栄養食事指導の種類と対象

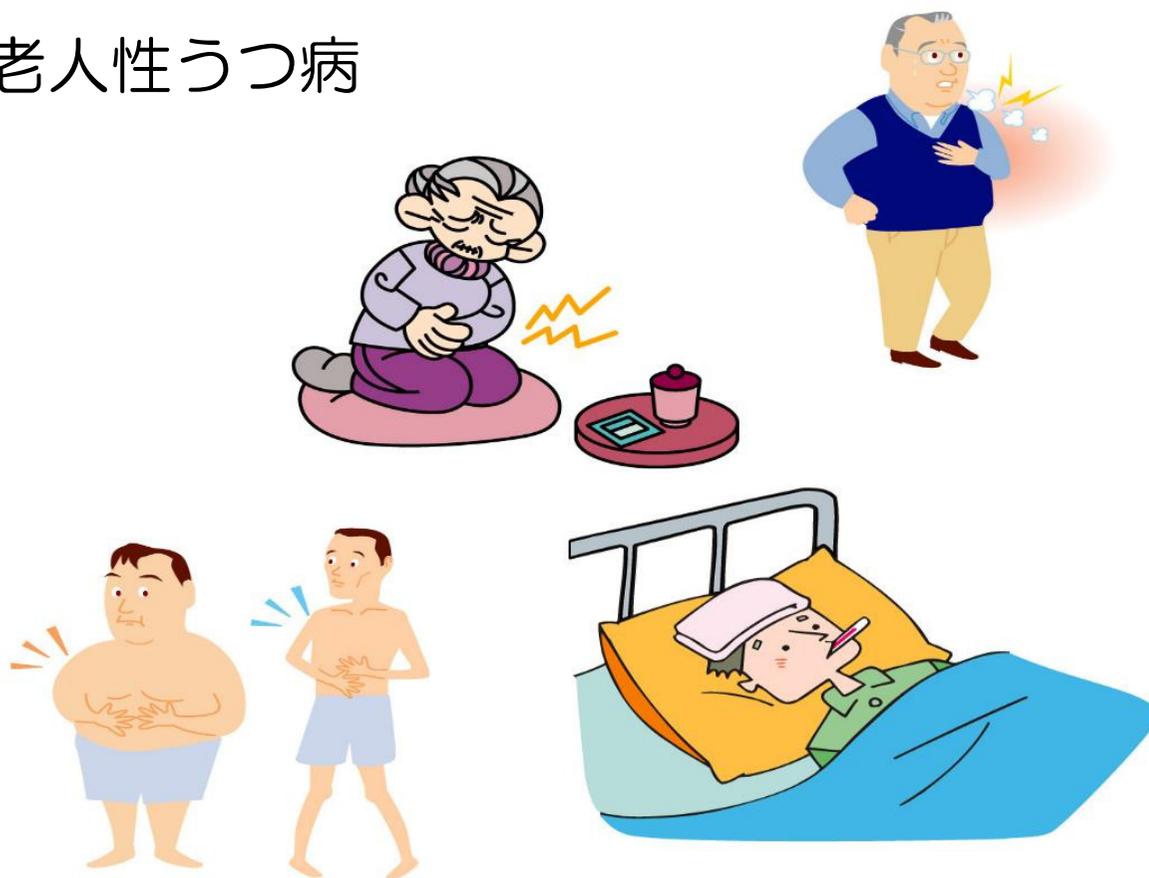
訪問栄養食事指導には、医療保険と介護保険により以下の3項目がある。要介護認定を受けている患者・療養者の場合は、介護保険による指導が優先される。

- ① 医療保険・・・「在宅患者訪問栄養食事指導Ⅰ・Ⅱ」
- ② 介護保険・・・「居宅療養管理指導Ⅰ・Ⅱ（：要介護者対象）」
「介護予防居宅療養管理指導Ⅰ・Ⅱ（：要支援者対象）」

対象は、通院・通所が困難で、食事管理が必要な患者・療養者とその家族であり、高齢者だけでなく、医療ケアが必要な小児も対象になる。

食事に関わりのある疾患

1. 脳梗塞
2. パーキンソン病、老人性うつ病
3. 狭心症、心筋梗塞
4. 癌（悪性新生物）
5. 糖尿病
6. 白内障
7. 骨粗鬆症
8. 肺炎、感染症
9. 認知症
10. 腎臓病



栄養ケアの必要な代表例

